

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2020年9月11日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

いのちとくらしを守れ！ 新型コロナウイルス災害 地域社保協が要求に基づき自治体へ要請

新型コロナウイルス災害の対策など、いのちとくらしを守ることを求めて、地域社保協が自治体や地方議会に働きかけをしています。

医療機関に財政支援を 釧路社保協が市議会に陳情・趣旨説明



釧路社保協は、9月の釧路市議会に「新型コロナウイルス感染症対策の強化と医療機関に対する財政支援を求める意見書」提出を求め陳情しました。8日の民生福祉常任委員会で、道東勤医協の太田美季専務理事(写真)が、陳情の趣旨説明として、医療機関の実情などを訴えました。

インフル流行期の混乱避けるため

太田専務は、コロナ感染症は長期的な対策が必要で、特にこれからのインフルエンザ流行期に医療現場では大混乱が予想されること。その回避のため、①PCR検査体制の抜本強化や検査対象の見直し、②医療機関や介護施設等に対するマスク・医療用手袋など資材の確保と備蓄、③減収となった医療機関への財政支援の3点をあげ、釧路市議会から国に意見書を上げることがを要望しました。

11日の陳情の採決では、共産党・市民連合は賛成しましたが、自民・公明・新創の反対で不採択になりました。

医療・介護崩壊から命を守って 小樽社保協が市に要望

9月3日、小樽社保協は、小樽市に対して、①ふれあいパス見直し、②特別定額給付金の改善、③経営破綻による医療・介護崩壊から国民の命を守るため緊急財政支援などを要請しました。

「ふれあいパス」の見直しはやめて

小樽市は、70歳以上の市民対象のバス優待乗車証「ふれあいパス」事業(市内の路線バスを120円で利用など)を、2021年度から1人当たりの年間購入数の上限設定や一部区間の料金値上げなどを検討しています。社保協は、「ふれあいパスは市民の強い要望と運動により実現し、高齢者の社会参加に大きく貢献し、多くの市民に喜ばれてきました。事業の継続を求めるとともに、市民の意見を充分に反映することを要望します」と申し入れました。

4/28以降生まれた住民にも小樽独自の拡充を

道社保協は、「4月28日以降に生まれた住民は特別定額給付金の対象外ですが、コロナ禍は続いています。社保協にも相談が寄せられています。自治体独自で行っているところもあります。小樽でも拡充してほしい」と要望しました。

経営破綻による医療・介護崩壊から国民の命を守るため緊急財政支援を

全ての医療機関・介護事業所に対し、緊急に前年実績比の減収分の財政支援を行うよう国に要請すること、市としてコロナ禍の次なる波に備え、第一次及び、第二次補正予算で予算化された施策を速やかに実施することを求めました。

小樽市は「市として、前年度比30%収入減の医療機関を対象に20万円を補助する方針です。焼け石に水かもしれないがそこまでです」と説明。勤医協小樽診療所の山本将太事務長は、「焼け石に水と仰せられましたが、その通りです。前年度比30%のハードルを下げてください。10%でも20%でも減収は深刻です」と訴えました。

